

投資事業評価調書（新規）

部課室名	漁港課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	漁港課長 小野 順三 (岡村 武司)	内線	4172 (4181)
------	-----	---------------------	--------------------------	----	----------------

事業種目	漁業構造改善	事業名	事業区間	総事業費	約3億円
		沿岸漁業漁村振興構造改善事業	家島町坊勢		

所在地	着工予定年度	完成予定年度
飾磨郡家島町坊勢 長井地区	H14年度	H14年度

事業の目的	事業内容
<p>家島町坊勢長井地区にある坊勢漁協の製氷冷蔵施設は、老朽化が著しい上に製氷・貯氷の作業効率が悪く、漁協経営の大きな負担となっている。また、ノリ養殖に欠かせない冷凍ノリ網については、冷凍保管場所の不足から、養殖漁家は一部を高値で島外から購入している実態があり、冷凍保管施設の拡充が強く望まれている。このため、14年度沿岸漁業漁村振興構造改善事業により最新型の製氷貯氷・冷凍冷蔵施設を整備するものである。</p> <p>事業主体：坊勢漁業協同組合</p>	<p>水産鮮度保持施設 (製氷貯氷・冷凍冷蔵施設) 鉄骨平家建 635㎡ 製氷 16トン/日 貯氷 210トン(最大350トン) 冷凍冷蔵 ノリ網2万枚 負担割合 国5/10 県1/10 町1/10 漁協3/10</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>現施設は昭和38年度に整備されたもので、すでに耐用年数を超え、補修によってかろうじて施設を維持しているが、これも限界にきており早急な施設更新が必要である。 (現施設の規模)鉄骨平家建 609㎡ 製氷 10トン/日 貯氷 140トン(最大280トン) 冷凍冷蔵 ノリ網 1.5万枚</p> <p>新鮮かつ安全安心な地元水産物の安定供給を望む県民の要求に応える施設である。 漁業者からの強い要望があり、町が支援するとともに地元住民の理解も得られている。</p>
(2)有効性・効率性	<p>投資効率1.83となっており、事業としての効果が十分に期待できる。 氷販売とノリ網保管料で年間約3千万円の収入を見込んでおり、この収入をもって十分に運営が可能である。 より効率の高い施設への更新であり、地区内に代替施設はない。</p>
(3)環境適合性	<p>冷媒にはフロン系のものでなく環境負荷の低い液体アンモニアを採用すると共に災害対処に十分な配慮を行う。 貯氷・冷凍・冷蔵庫は、季節毎の利用形態に対応できる配置・能力とし、電気代等維持経費の最大限の軽減を図る。</p>
(4)優先性	<p>現施設の老朽化が著しく、安定した漁業経営への支援だけでなく、事故が起こる可能性も懸念されており、作業員の安全性確保の観点からも、優先的に新しい施設を整備する必要がある。</p>

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた
-------	------	------	--------------------